

新城市議会議員**カークランド陽子**の活動報告と議会報告

柿栗レポート

令和５年 春

（皇紀　2683年）

VOL. 6

ごあいさつ

新緑が目に鮮やかな、すがすがしい季節となりました。新城の山々も、濃淡の異なる「緑」がまるでパッチワークのようで可愛らしく、自然の美しさに目をうばわれる毎日ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

３月議会では不覚にも体調を崩し、準備していた一般質問をすることができませんでしたが、一部議案の抜粋や議員活動についてここにご報告いたします。

市の事業の予算・補正予算・条例改正ピックアップ

事業内容	予算額
① 学校給食施設改築事業（給食センター） 令和５年度は、共同調理場の建設、給食受入室の設計及び改修等を行います。	**２３億 9,630 万４千円** 国庫補助金 １億４千 900 万円 市税等　８千 600 万円 地方債 21 億６千万円
② 学校給食施設改築事業（給食センター）補正予算 各学校の受け入れ施設改修実施設計業務委託料が増額したため。	**4,490 万６千円** 市債 3,790 万円 一般財源　700 万６千
③ 新型コロナワクチン接種事業 新型コロナウイルス予防接種について、令和５年春及び秋に追加接種を行います。併せて引き続き初回接種及び小児・乳幼児接種を実施します。	**１億 9,020 万１千円** すべて国庫補助金 ＝国からの給付金
④ 新城市病院事業の設置等に関する条例の一部改正 標榜診療科名を変更する必要があるため、「産婦人科」を「婦人科」に改める。	

上記①を含む議案第２８号Ｒ５年新城市一般会計予算と、上記②を含む議案第２０号令和４年新城市一般会計補正予算に、以下の理由などにより「反対」しました。

令和４年１２月議会では、**(1)「市民説明会の実施」と「地産地消促進に向けた計画の具体化」を求める請願と(2) 給食センター建設中止を求める請願**、が提出され、(1)は１７名中１５名賛成で採択となった。にもかかわらず、１年以上前からお願いし続けている市民への丁寧な説明の会も開かれていない（知る限り、３月議会のあと市民からの要請でようやく一度開かれたが、市民からの要請なので市からの広い告知はなし）。

市民からはその後も私のもとには、この事業に対し多くの疑問の声がいまだに寄せられている。費用も補正予算で当初の予定より増えており、建設工事は始まってしまったものの、過大な工事等疑問は払拭されるどころか膨らむばかりである。

上記③の第６４号議案令和５年一般会計補正予算に、以下の「反対討論」をしました。

このメッセンジャーＲＮＡ型ワクチンは未だ治験中で、中長期的な安全性も確認されていないワクチンであり、実際新型コロナワクチン接種後の死亡事例は、令和５年３月１０日現在２００１名・重篤者数約２６０００件が報告されている。報告されていないケースやそもそも副反応だと気がついていないケースも含めると、報告されているのは氷山の一角と思われる。ちなみに薬害エイズ事件で命を奪われた方は７００名余。

コロナワクチンによる重大な副反応もしくは副反応疑いに関しては本市でも詳しく把握していないとのことだが、これ以上の被害者を出さないためにも一旦立ち止まり、しっかり調査してから再開するか否かを決めるべきである。

上記④の第１９号議案の条例の一部改正に、以下の「賛成討論」をしました。

「産婦人科」を名乗るためには機材など一定の条件が定められているが、全国的な産科医不足により、新城市民病院でもＨ１７年頃から医師の確保が困難な状況。そのため産科の機能を果たせていない状態が長年続いており、現在でも医師の確保ができていない。したがって診療科名を実態に合わせて変更するのは致し方がないと考える。が、２００４



【有志議員　議会報告会開催】

２月１８日に、西部公民館（ちさと館）にて、有志議員５人による議会報告会を開催しました。手配りのお知らせで、広く周知することができなかったにもかかわらず、４０名ほどの方がご参加くださいました。

各議員のこれまでの取り組みの報告、給食センター事業に関するご質問や今後の新城に関するご質問やご意見、市民の市政への関わりに関するご意見など、限られた時間ではありましたが、有意義な意見交換ができたのではないかと思います。今後も開催していく予定ですので場所や時間のリクエスト等ありましたら、お気軽にご相談ください。次回は５月２０日（土）午後７時から９時、ちさと西部公民館です。

【カークランド陽子　お話し会】

４月１０日、市内カフェで私のお話し会を開催していただきました。内容は主催者の依頼で「今世界で、日本で、新城で起こっている事」という、かなり大きなお題でした😆

当時ＥＵの一員でもあったイギリスで実際に 10 年間生活をし、イギリス人の家族をもち、働き、出産し、子育てをしたからこそ見えてきた事、そしてそれらが日本にどのような影響を与えているのかということを、私もイギリスに住む前は知らなかったイギリスの基本的な情報やイギリス人の生活についてのスライドとともに、お話しをしました。

また、一人でも多くの方に、政治に関心を持ってもらいたいという思いを込めて、議員としての活動を通してわかってきた政治のことや、議員のお仕事についてなども少しお話をさせていただきました。

【カークランド陽子事務所 】

メール: info@yokokirkland.jp

ホームページ: yokokirkland.jp

※過去の柿栗レポートはホームページから

ご意見・ご質問・お困りごと等、
お気軽にお問い合わせください♫

【特集】風力発電って、どんなもの？

～（仮称）新城・設楽風力発電事業～

お話し会

まずは知ろう！　つくで交流館でお話し会を開催しました

お話し会の流れ

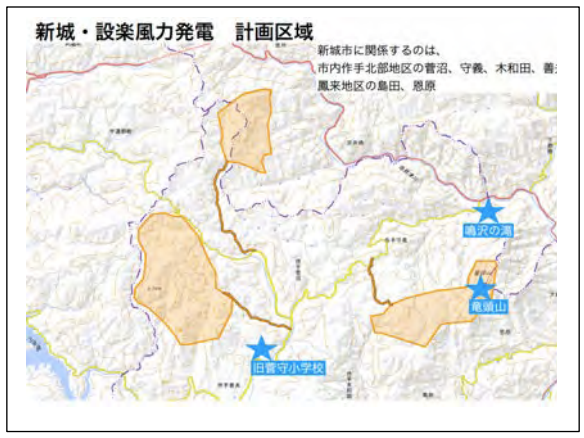
作手と旧鳳来の一部で現在、民間企業による大型風力発電事業の計画があり、調査が進められています。そこで４月９日（日）と１３日（木）に、風力発電に関してのお話し会を開催したところ、計約４０名の方がご参加くださいました。

お話会では、林野庁にお勤めされていた方のお話と私が調べた内容をスライドにまとめ、以下の流れでお話をさせていただきました。

① 風力発電ってどういうもの？
② （仮称）新城・設楽風力発電について
③ 風力発電のメリット・デメリット
④ 他市町村での事例
⑤ 地方自治体と再エネ制度

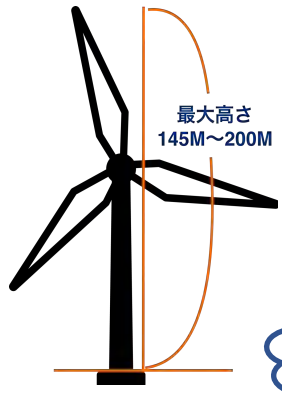
（仮称）新城・設楽風力発電事業の概要

総発電出力	最大８６,０００kW
基数	最大２０基
事業実施想定区域の面積	約６.４平方ｷﾛﾒｰﾄﾙ
発電機出力	最大４,３００kW/基
ローター直径	約１３０m
最大高さ	約１４５～２００m



日本の陸上風車では最大級の大きさだから、環境や健康への影響も未知数なんだって。

名古屋テレビ塔が180M だから、それと同じくらいの高さ ！？ それが最大20基、計画されているんだね。



配慮書のあらましはこちら

視察

青山高原ウインドファーム（三重県）　視察

青山高原ウインドファームは、三重県津市の青山高原に位置する集合方風力発電所です。２００３年に７５０kw の風車２０基運転開始。現在は２０００kw の風車４０基を含む計９１基の風車群。

当日は、青山高原在住で歯学博士の武田恵世（たけだけいせ）先生の案内で、ウインドファーム内の見学をしました。

著書：「風力発電の不都合な真実～風力発電は本当に環境に優しいのか～」など（２０年にわたって風力発電の問題について研究し、各地で講演を行いながら発信を続けている）



上の写真（当日撮影）は日立製作所の風車。

当時政府は風力発電の国産化を進めており、１９９９年ごろには、最終的に日立製作所・三菱重工・日本製鋼所の３社が風力発電の製造を行っていたが、２０１９年に製造を停止、風力発電機生産から完全撤退した。現在はすべて欧州や中国など海外からの輸入。

風の強さは視察当日と同じくらいの日がほとんどということ。かなり風が強く吹いていると感じるくらいで、風車はしっかりと回っていましたが、２０００kw の風車が２０００kw 発電するには、風速１２メートル以上と、傘がさしにくいくらいの風が吹いている必要がある。この日くらいだと、発電はしているけど送電はしていない状態とのことでした。



風車の音は、山に反射してこだましたり、雲に反射（スカイリフレックス）したりするので、７５０kw 基から 2km ほど離れた村では、梅雨時になると風車の音が響き渡ると言うことでした。

クリーンセンター

東三河ごみ焼却施設広域化計画

クリーンセンターの広域化（移転）計画の中間見直しが行われました

愛知県では、令和３年１１月には「愛知県ごみ処理広域化・集約化計画」（２０２１年～２０３０年）を策定しており、これに基づき県内市町村のゴミ処理の広域化を推進しています。



広域化とは

その設備の社会的責務を果たすために、財政的・技術的な基盤を強化することを目的とし、複数の事業設備の統合を行うことです。新城市でも老朽化に伴い、新城市と北設地区を集約化した新施設の令和１４年度供用開始を目指し、移転先を含め現在協議を進めています。

広域化の理由

ゴミの量の増大に伴い最終処分場の確保が難しくなってきていることや、高度な環境保全対策の必要性など、適正なゴミ処理を推進するにあたっての課題に対応するために国が「ゴミ処理の広域化」を推進しています。

（平成 10 年～19 年）「愛知県ごみ焼却処理広域化計画」
（平成 20 年～29 年）「第２次愛知県ごみ焼却処理広域化計画」
（令和 3 年 11 月）「愛知県ごみ処理広域化・集約化計画」
（令和 14 年度）14 年度の集約した新しいクリーンセンター

